

English Composition Based on the Comparison Between English and Japanese

—日英比較—

コミュニケーション英作文

著

友繁義典



NAN'UN-DO

English Composition Based on the Comparison Between English and Japanese

© Copyright 2017

Yoshinori TOMOSHIGE

All rights Reserved

*No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the author and Nan'un-do Co., Ltd.*

本書は、英語らしい英語を発信するための基礎作りを目指す教科書です。日本語から英語に変換する場合、時として、我々日本人は、日本語独特の発想や日本語の表現そのものに引っぱられて、間違った英語表現をしてしまうことがあります。「辞書を引く」を **consult a dictionary** とせず、(×) **pull a dictionary** としてしまうような場合がそのような例です。我々は、ともすると日本語の「引く」をそのまま英語の **pull** に対応させて表現し、その結果、(×) **pull a dictionary** のような誤った表現をしてしまうようなことがあるということです。このような日本語から英語への誤った変換をする傾向は、高等学校まで一通り英語を学習してきた学生にだけ見られる現象ではなく、長年英語に親しんで来た人であっても、つい、日本語に引っぱられて上記のような間違いを犯してしまうことがあるように思われます。

実際、英語を学ぶにあたっては、英語独特の表現や日本語の発想からは生まれないような様々な表現を観察し、それらを実際の場面で使えるようになることが極めて重要です。しかし、それと同時に、英語の母国語話者が持っている直感や発想また英語の背後にある文化を学ぶということも重要であります。したがって、英語学習は、必然的に英語という言葉そのものの学習とそれを話す人びとの発想や文化の学習をも包摂することになります。

本書では、英語と日本語を比較しながら、英語らしい表現を追求するべく英語独特の発想、英語独特の表現を学んでいくことを目的とします。本書はそのような学習のほんの入り口程度の内容にしか触れてはいませんが、今後更に、日英の共通点・相違点を確認しながら、様々な英語らしい英語の表現をすることができるきっかけとなれば筆者としてはこの上なく幸せです。

昨今では、英語でのコミュニケーションの重要性が益々声高に謳われている感があります。それに応えるべく、本書では、コミュニケーションな面も意識しながら自己発信に役立つ様々な表現を提供していきます。本書が学生諸君にとって英語らしい英語での自己発信ができる糸口になるとすれば、筆者冥利に尽きます。

著者

CONTENTS

Unit 1	日本語と英語の語順	6
Unit 2	動詞構文を好む日本語、名詞構文を好む英語	9
Unit 3	「ナル」型言語の日本語、「スル」型言語の英語	12
Unit 4	「経過」重視の日本語、「結果」重視の英語	15
Unit 5	日本語と英語の肯定表現と否定表現	18
Unit 6	「BE 言語」の日本語、「HAVE 言語」の英語	21
Unit 7	日本語の「無界性」と英語の「有界性」の傾向	24
Unit 8	「状況」に焦点を置く日本語、「人間」に焦点を置く英語	27
Unit 9	日本語の「人間主語」と英語の「無生物主語」	30
Unit 10	日本語の自動表現・間接受動文とそれらに対応する英語表現	33
Unit 11	日本語の間接受動文と英語の能動文、直接受動文	36
Unit 12	日本語の「テイル」表現とそれに対する英語表現	39
Unit 13	日本語の完了相と英語の完了相	42
Unit 14	日英語の心理動詞・心理形容詞	45
Unit 15	日本語の視点、英語の視点（時制の比較）	48

Unit 16	自己を他者と捉える視点を持つ英語、持たない日本語	51
Unit 17	日本語の「来る」「行く」と英語の「come」「go」	54
Unit 18	ウチの観察者の立場からとソトの観察者の立場からの表現	57
Unit 19	後方重心型の日本語、前方重心型の英語	60
Unit 20	日本語の接続表現と英語の接続表現	63
Unit 21	日本語のイディオムと英語のイディオム	66
Unit 22	日本語のイディオムを英語に直す	69
Unit 23	日本語のカタカナ語とそれに対応する英語（1）	73
Unit 24	日本語のカタカナ語とそれに対応する英語（2）	77
Unit 25	英語に直しにくい日本語表現（1）	82
Unit 26	英語に直しにくい日本語表現（2）	86
Unit 27	日本語らしい日本語を英語に直す（1）	90
Unit 28	日本語らしい日本語を英語に直す（2）	94
Unit 29	日本語のオノマトペを英語に直す（1）	98
Unit 30	日本語のオノマトペを英語に直す（2）	102

[A] 日本語と英語の語順が逆になっている場合：

- | | |
|-----------|--|
| a. あちらこちら | ⇔ here and there |
| b. あれこれ | ⇔ this and that |
| c. 前後に | ⇔ back and forth |
| d. 発着 | ⇔ arrival and departure |
| e. 寒暖 | ⇔ heat and cold |
| f. 晴雨 | ⇔ rain or shine
(慣用表現としては、「晴雨を問わず」の意で用いられる) |
| g. 濃淡 | ⇔ light and shade |
| h. 南北 | ⇔ north and south |
| i. 新旧 | ⇔ old and new |

[B] 日本語と英語の語順が同じ場合：

- | | |
|------------|---------------------------------|
| a. 上下 | ⇔ top and bottom |
| b. 上下する | ⇔ go up and down |
| c. 前後 | ⇔ the front and the rear |
| d. 男と女 | ⇔ men and women |
| e. 父と子 | ⇔ father and son |
| f. 天国と地獄 | ⇔ heaven and hell (注：「地獄極楽」もあり) |
| g. 少年少女 | ⇔ boys and girls |
| h. 夫と妻(夫婦) | ⇔ husband and wife |
| i. 東西 | ⇔ east and west |

[C] いずれの語順もある英語：

- | | |
|----------|---|
| a. 左右 | ⇔ left and right / right and left |
| b. 遠近 | ⇔ near and far / far and near |
| c. 需要と供給 | ⇔ supply and demand / demand and supply |

A 次の日本語はどの英語と対応するか記号で答えなさい。

- | | | |
|-----------|-------|-----------------------------------|
| 1. 東西南北 | _____ | ア. the past and the present |
| 2. 水陸 | _____ | イ. a matter of right and wrong |
| 3. 貧富 | _____ | ウ. north, south, east and west |
| 4. 遅かれ早かれ | _____ | エ. a black and white photograph |
| 5. 白黒写真 | _____ | オ. joys and sorrows |
| 6. 遠近から | _____ | カ. land and water |
| 7. 苦楽 | _____ | キ. food and drink |
| 8. 死活問題 | _____ | ク. buying and selling |
| 9. 飲食物 | _____ | ケ. (the) rich and (the) poor |
| 10. 政教分離 | _____ | コ. sooner or later |
| 11. 売買 | _____ | サ. audio-visual aids |
| 12. 新旧 | _____ | シ. a matter of life and death |
| 13. 過去と現在 | _____ | ス. separation of church and state |
| 14. 視聴覚機器 | _____ | セ. from near and far |
| 15. 善悪の問題 | _____ | ソ. old and new |

B 空所に適語を入れて英文を完成させなさい。

- 遠近を問わず、多くの人たちがそのコンサートにやって来た。
A lot of people came to the concert from () and ().
- その国では貧富の差がますます激しくなっている。
There is a growing gap between () and () in the country.
- おじいさんとおばあさんは人生の苦楽を共にしたと私に話してくれた。
My grandparents told me that they had shared the () and () of life.
- それは私にとって死活問題だった。
It was a matter of () and () for me.
- 遅かれ早かれ、彼は姿を見せるでしょう。
He will show up () or ().
- 彼はコックとしてあちこちで働いた。
He worked () and () as a cook.
- 彼らはワインを飲みながらあれこれと話し合った。
They talked about () and () over a bottle of wine.

8. 彼女は暑さ寒さに弱い。
She is sensitive to () and ().
9. 彼は眉毛を上下に動かした。
He moved his eyebrows () and ().
10. 彼女は左右を確かめて道路を横切った。
She looked () and () and crossed the street.
11. 需要と供給は経済では重要な役割を果たす。
() and () plays an important part in the ().
12. 「政教分離」という表現は 1802 年にトーマス・ジェファークソンによって書かれた手紙に由来する。
The phrase “() of () and ()” comes from a letter written by President Thomas Jefferson in 1802.
13. 二人が夫婦であることを宣言します。(結婚式で司祭が言う台詞)
I now () you () and ().
14. この絵画は明暗の具合をよく現している。
This picture () fine effects of () and ().
15. その通りは南北に走っている。
The street () () and ().

C 次の日本語を英語に直しなさい。

1. 前後をよく見なさい。

2. 彼は古銭や切手を売買している。

3. その道は約 2 キロ先で左右に分かれている。

4. 新入社員歓迎パーティは、晴雨を問わず次の金曜日に行われます。

UNIT 2 動詞中心構文を好む日本語、名詞中心構文を好む英語

日本語は動詞を中心とした構文を好む傾向があるのに対して、英語は名詞を中心とした構文を好む傾向がある。

- (1) a. She's a good cook.
b. She cooks well.
- (2) a. She's a fluent speaker of English.
b. She speaks English fluently.
- (3) a. He's a fast runner.
b. He runs fast.
- (4) a. He's a quitter.
b. He gives up easily.
- (5) a. She smiled happily.
b. She gave a happy smile.
- (6) a. He kicked the door hard.
b. He gave the door a hard kick.
- (7) a. I breathed deeply.
b. I took a deep breath.

「彼女は料理が上手だ」に対応する英語は (1a) のように名詞の cook を用いて、She's a good cook. とするのが英語らしい表現と言われている。この英語を直訳すると、「彼女は上手な料理人だ」となるが、このような日本語は、「彼女は料理が上手だ。」と比べると、いささか不自然な響きがある。同様に、「彼女は流暢に英語を話す」を英語に直すと (2a) の She's a fluent speaker of English. が英語らしい英語と言われている。(2b) のように She speaks English fluently. の表現も存在するが、名詞句 a fluent speaker of English を用いている (2a) の方が英語らしく落ち着くとされている。同様の説明が (3a) と (3b) に関しても当てはまる。すなわち、「彼は走るのが速い」は、自然な日本語だが、「彼は早い走り手だ」は何か特別な文脈を必要とする表現であろう。以下の例文に関しても同様に説明が可能である。